
白銀伝

リアル思考

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白銀伝

【Nコード】

N4840H

【作者名】

リアル思考

【あらすじ】

肥沃な大地と気候に囲まれた、まるで大国に相応しい王国、フランドル王国。古来よりイギリス王国の侵攻によって始まった百年戦争により、国土は疲弊し、民は飢え、兵は傷ついていた。しかし後にフランドルに「英雄」と称される皇太子、リチャード・フランクリンが現れる。彼の大改革的な政治と戦術はフランドル王国を繁栄へいざなうのか。否、滅亡へと向かうのだろうか。

切迫（前書き）

架空の百年戦争を書いたものです。ぶつかり合う甲冑、軍馬、武器。ぜひ浪漫を感じてください。

切迫

王は失望していた。大地は他人のものとなり、親愛なる兵どもは血の海に沈む。

これほど絶望的な状況はフランドル王国にかつてもたらされたことはなかった。

フランドル王国は記憶や記録もあやふやなほど遠い昔、イギリスア王国の不当な宣戦布告により二国は交戦状態に陥った。

その戦争の理由はフランドル王国の王位継承問題である。

フランドル王国の先代の王には、子はおらず、養子や遺言も残さなかったのであった。王の死後、この王の妻はイギリスア王国の姫であつたため、この姫を女王に立てよとイギリスアは突如として主張し始めたのである。

このあからさまな間接侵略行為に、このままではイギリスアに主権を乗っ取られると言うことで、先代の王の甥であるドメーヌ・フランクリンに主権を委託すると主張した。

二国間の意見は対立し、1ヶ月間の大討論の末、結局破綻。イギリスアは歩兵約二万騎兵約一万二千でフランドル王国の南、ケルン地方に上陸した。フランドル王国は圧倒的な騎兵、歩兵、地の利に有利であつたが、イギリスアの長弓隊の前では突撃の前に射殺されてしまい、敗走を重ねる始末であつた。（むしろベランズ突進公の無策な突撃にも大きな問題はあつたのだが。）

幾たびの負け戦の末、フランドル王国の北側ケルン地方おるか西側のバドゥ地方も占領されてしまったのである。

これがフランドル王国とフランドル王にもたらされた状況である。

ケルン地方は羊毛と小麦の主要な産地であつたし、バドゥ地方は南西の国ヒスパニア帝国との貿易の要所であつた。これらが占有された今財政は圧迫し、王が頭を抱えるのも妥当である。

王は半場諦めていた。このままイギリス王国の属国になるうか。少なくとも抵抗なく従えば命は助かるだろうし、あわよくばどこかの領主として任せられるかもしれない。

第一なんの功績もない先代の王、ドメーヌ・フランクリンの息子がフランドルを治めるなど無理な話なのだ。自分にはつきり言って無能。兵もベランズ突進公の所為で壊滅。自分に責任は無い。

そんな言い訳を頭で繰り返し、降伏と抵抗を天秤にかける。しかし簡単に答えは出ていた。

「降伏」である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4840h/>

白銀伝

2010年10月10日18時51分発行